

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

瀬戸内共同火力株式会社 福山共同発電所

(2) 事業所の所在地

広島県福山市鋼管町1番地

(3) 業種

3311 発電所

2 計画の期間

本計画の期間は、平成19年度(2007年度)を基準年度とし、令和3年度(2021年度)から令和7年度(2025年度)までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成19年度 (2007年度)	令和7年度 (2025年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
エネルギー 起源CO ₂	215,803	186,868 13.4	190,330 11.8	191,303 11.4	181,253 16.0	189,081 12.4	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素	6	15 (150.0)	16 (166.7)	15 (150.0)	15 (150.0)	13 (116.7)	100.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	215,809	186,883 13.4	190,346 11.8	191,318 11.4	181,268 16.0	189,094 12.4	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	令和6年度は主燃料である製鉄所からの副生ガスが増加したため、温室効果ガス排出量も増加した。その結果、温室効果ガス実排出量総計の削減率（基準年度比）が令和5年度の16.0%から12.4%となった。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **所内電力量(MWh)**

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成19年度 (2007年度)	令和7年度 (2025年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	0.2464	0.2156 12.5	0.2236 9.3	0.2337 5.2	0.2343 4.9	0.2354 4.5	100.0
実績に対する 自己評価	令和6年度も発電設備の効率的な運転により、エネルギー消費原単位の削減量（基準年度比）が4.5%となった。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	送電端熱効率の向上	—	・ 定期事業者検査工期の短縮 ・ 所内電力の削減 ・ 効率向上対策工事の実施 (R2：新2号ガスタービン発電機の設置他)
2	重油使用量の削減	・ H19年度 56,259 KL ・ R3年度 122,361 KL ・ R4年度 119,258 KL ・ R5年度 138,638 KL ・ R6年度 107,455 KL	・ 保炎用重油量の削減 ・ 製鉄所保安電力の低減
3	電気使用量の削減	—	・ 適正な室内温度湿度の管理 ・ エアコン設置時は、省エネタイプを導入 ・ LED照明への変更 ・ 不要時消灯の励行
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	該当項目はありません	
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	廃棄物排出量の削減	—	・ 分別資源化の徹底 ・ リサイクル品の全量回収
2	用紙の削減	—	・ O A活用によるペーパーレス化の促進 ・ 裏面使用、両面コピーの促進
3	その他	—	・ 再生紙、再生品の使用の拡大 ・ エコマーク、グリーンマーク商品の活用

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。